

単元名 表計算ソフトの利用

題材名「成績の処理をしよう」

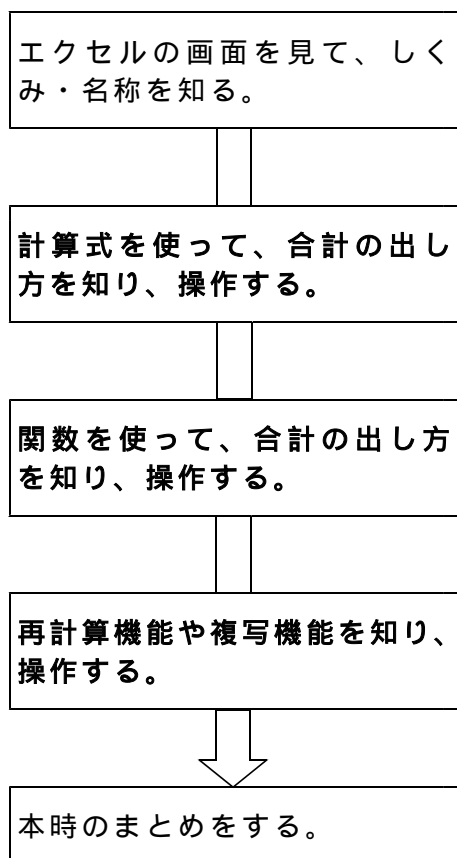
目 標

- ・表計算ソフトウェアのしくみを理解する。
- ・表計算ソフトウェアの機能を理解し、基本操作が出来る。

コンピュータを活用する利点

表計算ソフトウェアは、数字データを自動的に集計してくれる応用ソフトウェアである。複雑な計算やたくさんの計算が瞬時にでき、データ分析やグラフ分析なども出来る。中学生が興味・関心を持っている成績を視覚的に分析し、理解するのに適している。

授業の流れ



ICT活用場面

表計算ソフトウェアのしくみや機能を知り、基本操作が出来るようにするには、生徒がデータとして取り扱いやすい成績処理を利用することで、集中して取り組ませることが出来る。合計や平均を計算するには、計算式を利用するよりも関数を利用する方が、より速く簡単に正確に計算が出来、再計算機能や複写機能といった便利な機能を使えばたくさんのデータも処理出来ることに気づかせたい。



成果と課題

「成績処理」ということで、ほとんどの生徒が興味関心を持って取り組むことが出来、速く計算が終わった生徒が、遅い生徒に教えてあげる場面もあった。

関数を使った時に、もう少しじっくり時間をかけて取り組ませれば、もっと定着すると思うが、なかなかその時間が確保出来ないのが現状である。

ICT活用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン 33台、プロジェクタ
使用ソフト名	エクセル
使用教室	コンピュータ教室